

ワットセンス・プロジェクト

WATT SENSE AWARD 2012

～地球にやさしい節電やエネルギーの有効活用等に関する取組みを表彰～

募集要項



watt sense
award 2012

平成 24 年 8 月

主催: 一般社団法人日本エンパワーメントコンソーシアム

ワットセンス・プロジェクト実行委員会

後援: 環境省

WATT SENSE AWARD 2012 募集要項

～地球にやさしい節電やエネルギーの有効活用等に関する取組みを表彰～

1. 目的

我が国では、平成 20 年に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」等に基づき、低炭素社会に向けた省エネ等の取組みの促進が求められています。また東日本大震災以降、全国的に電力需給が逼迫しており、あらゆる主体に対して電力需要の抑制が要請される状況が続いています。

このような社会背景において、地球温暖化問題やエネルギー問題に対する国民一人ひとりの理解を醸成し、節電やエネルギーを有効活用する取組みなど、低炭素社会・持続可能社会に向けたワークスタイル、ライフスタイルを促進する必要性が、以前にも増して高まっています。

また東日本大震災以降、国民一人ひとりの中に、エネルギーと社会のあり方、エネルギーと自分自身のあり方を考える意識が芽生え始めています。その一方、事業者における「節電疲れ」が蔓延し始めているのも事実です。節電やエネルギーの有効活用等の取組みが持続可能であるためには、それを続けるための意識づけやモチベーション自体が持続可能である必要があります。

そこで私たちは、そのような意識づけやモチベーション、すなわち、「エネルギーの使い方を考えるセンス」を「ワットセンス」と呼び、国内の企業、NPO・NGO、地方自治体、個人等の「ワットセンス」に溢れた取組みや知恵を共有し、ネットワークする国民運動「ワットセンス・プロジェクト」を立ち上げました。「ワットセンス・プロジェクト」とは、そのような全国に散らばる創意工夫に溢れた取組みや知恵を共有し、ネットワークすることにより、社会全体のエネルギーの使い方に対する豊かなコミュニケーションを育むことを期待するものです。

「WATT SENSE AWARD」とは、「ワットセンス・プロジェクト」の一環として行うもので、企業・団体の「ワットセンス」に溢れた、節電やエネルギーの有効活用等の取組みや、その取組みを促進するクリエイティブなポスター作品を表彰します。それら優れた取組みやデザインをトップランナーとして表彰し、広く情報発信することで、より多くの国民の中に「エネルギーの使い方を考えるセンス(＝ワットセンス)」を育み、低炭素社会・持続可能社会に向けたワークスタイル・ライフスタイルを促進していきたいと考えています。

2. 表彰部門と応募対象

本アワードでは、「ワットセンス・プロジェクト」の賛同会員による、節電やエネルギーの有効活用等の取組みを表彰する「アクション部門」および、節電やエネルギーの有効活用等の取組みを促進するクリエイティブなポスター作品を表彰する「クリエイティブポスター部門」の 2 部門で、取組みや作品を募集します。

(1) アクション部門

企業や行政、NPO・NGO による、節電やエネルギーの有効活用等の取組みを応募対象とします。

応募にあたっては、次ページの表に示すように、従業員・職員数や組織形態等を鑑み、①企業 A、②企業 B、③企業 C、④企業 D、⑤行政・民間団体等の 5 つの応募区分を設定しています。

また、企業等の事業者としての応募、事業所単位での応募、複数事業所一括での応募、いずれも可とします。

応募区分	応募資格
①企業 A	・事業者単位の従業員・職員数が 300 人以上であること
②企業 B	・事業者単位の従業員・職員数が 100 人以上 300 人未満であること
③企業 C	・事業者単位の従業員・職員数が 20 人以上 100 人未満であること
④企業 D	・事業者単位の従業員・職員数が 20 人未満であること
⑤行政・民間団体等	・行政、社団法人、財団法人、NPO 法人、任意団体 ・営利を目的とした活動を行なう団体でないこと

「ワットセンス・プロジェクト」では、以下の 6 つの分類で、節電やエネルギーの有効活用等の取組みを分類しており、このような活動についての応募を期待しています。ただし、この分類に該当しないものでも、「エネルギーの使い方を考えるセンス(=ワットセンス)」の育成に寄与するものであれば、審査・表彰の対象となります。

なお、応募の時点で、実際に実施されている取組みを対象とします。今後実施する予定であっても未実施の取組みは対象にはなりません。

<ワットセンスの6つのアクト>

- ① **WATT STYLE** エネルギーの消費を減らす機器や服装等を導入する取組み
(例)省エネ機器を導入する、クールビズ・ウォームビズを推奨する
- ② **WATT SHARE** エネルギーをシェアすることで、消費を減らす取組み
(例)通勤時のマイカーの相乗りを推奨する、自転車を共同利用する
- ③ **WATT SHIFT** エネルギーの消費時間をずらすことで、消費ピークを下げる取組み
(例)土日や夜間に工場を稼働させる、夏の始業時間を早める
- ④ **WATT RECORD** エネルギーの消費量を記録し、消費をマネジメントする取組み
(例)オフィスに電力モニターを導入する、毎月の消費量を記録する
- ⑤ **WATT FARM** 自然エネルギーを活用して電気や熱を生産する取組み
(例)オフィスへの風力発電や太陽光発電を設置する
- ⑥ **WATT LEARNING** オフィス等でエネルギーの有効活用等を学ぶ取組み
(例)節電等の社内啓発を行う担当者を育成・配置する

(2) クリエイティブポスター部門

節電やエネルギーの有効活用等の取組みを促進するクリエイティブなポスター作品を応募対象とします。国籍・年齢は問いません。

3. 応募に係る費用

アクション部門への応募にあたっては、「ワットセンス・プロジェクト」の賛同会員であることが必要ですが、賛同会員であれば、本アワードへの応募に関して、新たな費用は発生しません。

クリエイティブポスター部門への応募にあたっては、「ワットセンス・プロジェクト」の賛同会員である必要はなく、応募に係る費用の支払いの必要はありません。

4. 表彰の種別

表彰部門、応募区分ごとに、「環境大臣賞」1団体・作品、「優秀賞」を5団体・作品、「優良賞」10団体・作品程度を選定します。

また、上記の受賞団体・作品以外の全ての応募団体・作品には、「アワード参加賞」が授与されます。なお、それぞれの表彰に対しては、「WATT SENSE AWARD 受賞」ロゴを、名刺や事業所等へ掲示・表示できることが認められます。(詳細は、「ワットセンス・プロジェクト ロゴマーク使用規定」を参照のこと)

表彰部門、応募区分		環境大臣賞	優秀賞	優良賞	アワード参加賞
アクション部門	①企業A	1 団体	5 団体	10 団体程度	左記表彰団体以外のすべての参加団体
	②企業B	1 団体	5 団体	10 団体程度	
	③企業C	1 団体	5 団体	10 団体程度	
	④企業D	1 団体	5 団体	10 団体程度	
	⑤行政・民間団体等	1 団体	5 団体	10 団体程度	
クリエイティブポスター部門		1 作品	5 作品	10 作品程度	左記表彰作品以外のすべての参加作品
授与するロゴ		 環境大臣賞	 優秀賞	 優良賞	 参加賞

5. 応募方法

(1) アクション部門

郵送による応募になります。

応募者は、該当する部門・区分を選択したうえで、応募書(別紙)に必要事項を記入して、「WATT SENSE AWARD 2012 事務局 応募係」へ正副各1部および、応募書(別紙)のデータファイル(マイ

クrosoft社 WORD)を記録した CD-R または DVD-R を郵送又は宅配便で送付して下さい。なお、電子メール、FAX による応募はできません。

<応募書 送付先>

「WATT SENSE AWARD 2012 事務局 応募係(株式会社アスア)」
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通1丁目11番地 アスアビル
TEL: 052-452-5558 FAX: 052-452-6669

(2) クリエイティブポスター部門

クリエイター・デザイナーのためのポータルサイト「クリエイターズバンク」内の特設ページからの応募になります。

作品データを JPG または PNG 形式で保存し、エントリーフォームに以下に示す必要事項を記入の上、エントリーしてください。なお、著作権の取り扱い等については、特設ページの記載事項に依ることとします。

<特設ページの URL>

クリエイター・デザイナーのためのポータルサイト「クリエイターズバンク」
クリエイターのためのコンテスト・コンペ情報 COMPEDIA(コンペディア)
http://compedia.jp/watt_sense/

<エントリーフォームでの記入事項>

- 基本情報 アーティスト名
 応募者氏名 ※団体の場合は代表者
 生年月日
 住所、電話番号
 ホームページ URL ※任意
- 作品情報 作品タイトル
 作品コメント(100 文字程度)
- その他 その他自由記入

6. 応募期間

(1) アクション部門

平成 24 年 8 月 23 日(木)から平成 25 年 1 月 25 日(金)まで。(消印有効)

(2) クリエイティブポスター部門

平成 24 年 5 月 14 日(月)から平成 25 年 2 月 15 日(金)まで。(エントリーフォームでの送信期限)

7. 審査方法

(1) アクション部門

① 審査方法

審査は、二段階で行います。

第一次審査として、応募書に基づく書類審査を行います。

第二次審査として、応募者によるプレゼンテーションに基づくヒアリング審査を行い、その後、必要に応じて、取組みに対する訪問審査を行います。

② 審査対象項目

応募書(別紙参照)には、次ページの表中の項目を基に具体的な実施内容の記載を求め、審査の対象とします。

審査対象項目	応募書に記載を求める内容
目標と計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電やエネルギーの有効活用等を実現するための目標と計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員等が共感し、具体的な行動に移せる目標や計画が設定されているか ・ それらの目標や計画が、従業員等に理解され、共有されているか
取組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節電やエネルギーの有効活用等を実現するために行った、組織内のコミュニケーション活性化やモチベーション向上の取組みの内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのように、節電やエネルギーの有効活用等の必要性を従業員等に伝えたか、教育したか ・ 具体的にどのようなコミュニケーション活性化やモチベーション向上の取組みを行ったか ○ 節電やエネルギーの有効活用等を実現するために導入した、設備やツールの内容と活用方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的にどのような設備やツールを導入し、どのように活用したか
取組みの成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション活性化やモチベーション向上の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのくらい節電やエネルギーの有効活用等に対する理解度が高まったか ・ どのくらいコミュニケーション活性化やモチベーションの向上が図られたか ・ 企業等の組織の生産性や創造性の向上に関する効果があったか ○ 節電やエネルギーの有効活用等の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのくらい節電やエネルギーの有効活用等の効果があったか
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の活動の展開と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後どのように活動を継続・発展させていく計画か ・ 今後、これらの活動を継続・発展していく上でどのような課題があるか ・ 活動を発展的に継続するための工夫、取組みがあるか
ワットマン・ワットレディ (活動の中心的人物)の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の中心となる人物(ワットマン・ワットレディ)の有無、役割等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の中心となる人物(ワットマン・ワットレディ)がいるか ※男女問わず ・ ワットマン・ワットレディは、組織内のコミュニケーション活性化やモチベーションの向上どのような役割を果たしたか ・ ワットマン・ワットレディを今後組織内でどのように活用、育成していこうと考えているか

③ 審査基準

「WATT SENSE AWARD 2012 審査委員会」において、上記の審査対象項目について、以下の審査基準を重視の上、総合的に審査して受賞団体を選考します。

審査基準	
有効性	○ 節電やエネルギーの有効活用等に関して、高い成果を得ることができたか
独創性	○ 他では見られない独創的、先進的なアイデアに富んだものであるか
モデル性	○ その取組みと類似の取組みが、他の事業所、他の組織等へ既に広がりを見せているか (まだ波及していない場合であっても、その取組みが、他の組織等でも活用できる普遍的な取組みであるか)
発展性	○ その取組みが一過性のものではなく、長く継続されるような仕組みや仕掛けがあるか (また、ただ継続されているだけでなく、常に改善され、効果が高まっていくような工夫がなされているか)
プレゼンテーション力	○ 第一次審査においては、応募書が、要点を得て、その取組みの特徴及び意義が分かりやすく示されているか ○ 第二次審査においては、応募者が、誰にでも分かりやすく、かつ共感を呼ぶようなプレゼンテーションができていますか

(2) クリエイティブポスター部門

① 審査方法

審査は、二段階で行います。

第一次審査、第二次審査ともに、応募作品を、審査委員会にて評価し、優れた作品を絞り込んでいきます。

② 審査基準

「WATT SENSE AWARD 2012 審査委員会」において、以下の審査基準を考慮した上で、総合的に審査し、受賞作品を選考します。

なお、表現内容が、本アワードの目的と反する場合は、審査の対象とならないことがあります。

審査基準	
デザイン性	<ul style="list-style-type: none">○ デザインコンセプトが優れているか○ デザインが総合的に完成されているか○ 独創的であるか
社会性	<ul style="list-style-type: none">○ 国民から共感され得る作品になっているか○ 社会に広く影響を与えたり、波及効果に期待できるか○ 多くの人の行動を喚起することに貢献し得るか
提案力	<ul style="list-style-type: none">○ 新しい作法、マナーを提案しているか○ 人と人の新しいコミュニケーションを提案しているか○ 次世代のライフスタイルを提案しているか

8. 審査スケジュール

審査は、以下のスケジュールで実施します。なお、諸般の事情により、スケジュールに変更が生じる場合がありますので、ご了承ください。

(1) アクション部門

平成24年8月23日～平成25年1月25日	募 集
平成25年2月上旬	一次審査(書類による審査)
平成25年2月下旬	二次審査(ヒアリングによる審査)
平成25年3月中旬	審査結果の発表
平成25年3月29日	「WATT SENSE AWARD 2012」授与式

(2) クリエイティブポスター部門

平成24年5月14日～平成25年2月15日	募 集
平成25年2月中旬	一次審査
平成25年2月下旬	二次審査
平成25年3月中旬	審査結果の発表
平成25年3月29日	「WATT SENSE AWARD 2012」授与式

9. 審査委員会

「WATT SENSE AWARD 2012 審査委員会」は、以下の有識者等から構成されます。

大聖 泰弘	早稲田大学 環境・エネルギー研究科長 教授
相原 正道	福山大学経済学部准教授 一般社団法人日本トップリーグ連携機構 トップレベルスポーツクラブ マネジメント強化プロジェクトメンバー
井手迫義和	国際気象放送協会 (IABM) アジア代表理事、気象予報士
川端 由実	環境ジャーナリスト、自動車評論家
木畑 匡	公益社団法人日本青年会議所 日本のエネルギー選択委員会 副委員長 社団法人 堺高石青年会議所 監事
草鹿 仁	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 総合機械工学科 教授
高瀬 真尚	放送作家、株式会社ズノー 代表取締役社長
堤田 和久	株式会社アークフィリア 代表取締役社長 CREATORS BANK プロデューサー
土居 健太郎	環境省 地球環境局 総務課 低炭素社会推進室 室長
西本 芳伸	一般社団法人全国太陽光発電推進協議会、ソーラー普及専門家委員会 委員長
室山 哲也	日本放送協会 (NHK) 解説主幹
和田 由貴	節約アドバイザー、消費生活アドバイザー

10. 「WATT SENSE AWARD 2012」の授与式

平成25年3月上旬に「WATT SENSE AWARD 2012」の授与式を開催する予定です。詳細が決まり次第ご案内します。各部門の受賞者については、環境省のホームページ及び「WATT SENSE AWARD 2012」公式ホームページ、各種メディア等にて紹介させていただきます。

11. その他

- 審査の結果は、各賞が決定した後、すみやかに応募代表者に文書で通知します。
- 審査内容の詳細に関するお問い合わせ、審査結果に対する異議申立については一切お受けできませんので、ご注意ください。

「WATT SENSE AWARD 2012」応募書（アクション部門）

平成 年 月 日

WATT SENSE AWARD 2012 実行委員会 御中

(応募者名)

(代表者役職・氏名)

印

ワットセンス・プロジェクト 登録 NO.

1. 応募区分[該当する区分の数字に○印]

1. 企業 A	2. 企業 B
3. 企業 C	4. 企業 D
5. 行政・民間団体等	

2. 取組みの名称

--

3. 応募者連絡先等

団体名		
住所		(〒 -)
従業員/職員数		
担当者	ふりがな	
	氏名	
	所属部署	
	電話	
	ファックス	
	E-mail	

4. 応募内容(「3. 応募者連絡先等」を除く)の公開に関する同意の確認

応募した取組みの受賞の有無に関わらず、「3. 応募者連絡先等」を除く応募内容を、ワットセンス・プロジェクトの中で、広報や告知などの目的で使用することについて同意の上、以下の□印に☑してください。

同意します。

5. 取組みの概要

取組みを始めた経緯、どのような活動を行っているのか等、取組みの大まかな内容が分かるようご記入ください。また、取組みの内容がわかる写真やイラスト等を1枚以上添付してください。

※本ページは、環境大臣賞・優秀賞・優良賞・協賛企業賞を受賞された場合、公式ホームページ、授与式等で公表することを予定しているため、わかりやすく、かつ魅力的な表現方法を工夫してください。

6. 具体的な実施内容

取組みの実施内容を、募集要項に記載した審査基準も鑑み、簡潔に記入ください。

(1) 目標と計画

○ 節電やエネルギーの有効活用等を実現するための目標と計画

- ・ 従業員等が共感し、具体的な行動に移せる目標や計画が設定されているか
- ・ それらの目標や計画が、従業員等に理解され、共有されているか

(3) 活動の成果

○ コミュニケーション活性化やモチベーション向上の効果

- ・ どのくらい節電やエネルギーの有効活用等に対する理解度が高まったか
- ・ どのくらいコミュニケーション活性化やモチベーションの向上が図られたか
- ・ 企業等の組織の生産性や創造性の向上に関する効果があったか

○ 節電やエネルギーの有効活用等の効果

- ・ どのくらい節電やエネルギーの有効活用等の効果があったか

※効果に関する定量的なデータがある場合は、記載してください。(必須ではありません。)

(4) 今後の展開

○ 今後の活動の展開と課題

- ・ 今後どのように活動を継続・発展させていく計画か
- ・ 今後これらの活動を継続・発展していく上でどのような課題があるか
- ・ 活動を発展的に継続するための工夫、取組みがあるか

(5) ワットマン・ワットレディ(活動の中心的人物)の活躍

○ 活動の中心となる人物(ワットマン・ワットレディ)の氏名、所属部署、役職

氏名: _____

所属部署・役職: _____

性別(いずれかに丸): 男性 女性

(顔写真貼付)

○ ワットマンまたはワットレディは、組織内のコミュニケーションの活性化やモチベーションの向上にどのような役割を果たしたか

○ ワットマンまたはワットレディを今後組織内でどのように活用、育成していこうと考えているか

○ ワットマンまたはワットレディからのメッセージ

7. 類似表彰の受賞歴

※ 類似表彰(環境、エネルギー関係の表彰等)の受賞歴をお持ちでしたら、その表彰名、受賞年度、受賞名を記入してください。

8. その他

本応募書以外に参考となる資料があれば添付して下さい。

例1:活動主体、取組内容・連携の様子等がわかる資料(パンフレット、広報誌、取組写真、説明資料等)
例2:新聞・雑誌・地域情報誌等における報道記事等